

## これまでに肺癌・前立腺癌の治療を受けた患者さんへ 【過去の検体、診療情報の調査研究への使用のお願い】

順天堂大学医学部附属順天堂医院人体病理病態学講座では、大阪医科大学研究支援センター トランスレーショナルリサーチ部門と「KDM5D 欠損陽性癌の臨床病理学的解析」という共同研究を行っております。がんは正常細胞が様々な細胞ストレスにより引き起こされた遺伝子変異・異常が蓄積することによって発生します。KDM5D とは酵素の一つですが、KDM5D が欠失することでより悪性度の高い腫瘍へと変化していくことが近年報告されています。私たちは、肺癌、前立腺癌の症例を検索し、KDM5D 欠損の有無と悪性度（再発や病気による死亡）との関係を調べています。また、患者さんにとってより良い治療法を選択するため、腫瘍の悪性度を正確に診断できるような病理学的特徴を解明することも目的としています。そのため、過去に肺癌・前立腺癌の治療を受けた患者さんの検体やカルテ等の治療データを使用させていただきます。

この研究の対象となる患者さんは、順天堂大学医学部附属順天堂医院において 2010 年～2018 年に外来・入院による治療を受けられた肺癌、前立腺癌の治療を受けた方です。

利用させていただくカルテ情報は下記です。

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査）、治療内容  
また、手術で摘出された検体から遺伝子情報等の検索を行います。

この研究は順天堂大学医学部研究等倫理委員会の承認を受けて行われます。

- ・研究実施期間 西暦 2019 年 9 月 17 日 ~ 西暦 2026 年 12 月 31 日まで
- ・研究責任者 林 大久生
- ・研究分担者 浦 礼子、北村 香介、高持 一矢、齋藤 剛、小村 和正

過去の検体、データを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、検体やデータを使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。

患者さんの情報は、個人を特定できる情報とは切り離れた上で使用します。また、研究成果を学会や学術雑誌で発表されますが、患者さん個人を特定できる個人情報を含みません。

調査研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は大学・研究者に帰属し、あなたには帰属しません。

この研究は、科研費等の外部競争的資金を含む人体病理病態学講座、大阪医科大学研究支援センター トランスレーショナルリサーチ部門の研究費によって実施しておりますので、外部の企業等からの資金の提供は受けておらず、研究者が企業等から独立して計画し実施するものです。従いまして、研究結果および解析等に影響を及ぼすことはありません。また、本研究の責任医師および分担医師には開示すべき利益相反はありません。

「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」第12の1(2)アの(ウ)の規定により、研究者等は、被験者からインフォームド・コンセント(説明と同意)を受けることを必ずしも要しないと定められております。そのため今回の研究では患者さんから同意取得はせず、その代りに対象となる患者さんへ向けホームページで情報を公開しております。

この研究の対象となる患者さんで、ご自身の情報は利用しないでほしい等のご要望がございましたら、大変お手数ですが下記のお問い合わせ先までご連絡ください。なお、同意の有無が今後の治療などに影響することはございません。

**【問い合わせ先】**

順天堂大学医学部附属順天堂医院 人体病理病態学講座

電話：03-3813-3111 (順天堂医院大代表)

研究担当者：林 大久生